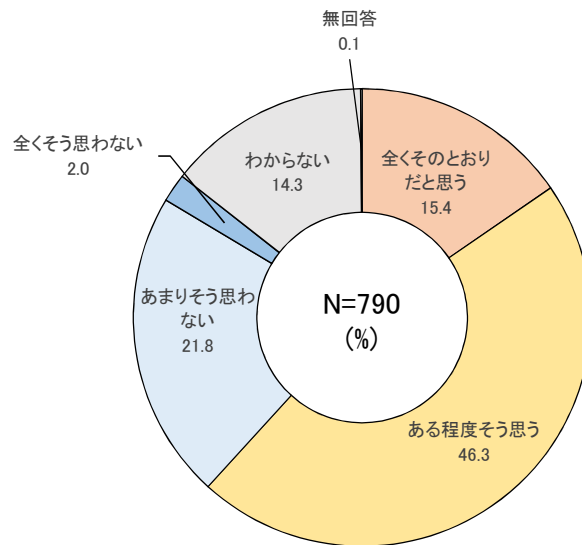


3 家庭及び地域の教育力について

問1 あなたは、家庭の教育力が低下していると思いますか。
次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「ある程度そう思う」(46.3%)が最も高く、「あまりそう思わない」(21.8%)、「全くそのとおりだと思う」(15.4%)、「わからない」(14.3%)が続く。

【圏域別】

「全くそのとおりだと思う」と「ある程度そう思う」の合計は、道北(計72.6%)が最も大きい。その他の圏域に大きな差異は見られない。

【人口規模別】

人口規模による大きな差異は見られない。

【性別】

性別による大きな差異は見られない。

【年代別】

「全くそのとおりだと思う」と「ある程度そう思う」の合計は、50～59歳が最も高い。(計70.6%)

【職種別】

「全くそのとおりだと思う」と「ある程度そう思う」の合計は、自由業(計76.2%)が最も高く、自営業(商工サービス)(計68.9%)、事務職系(計68.1%)が続く。

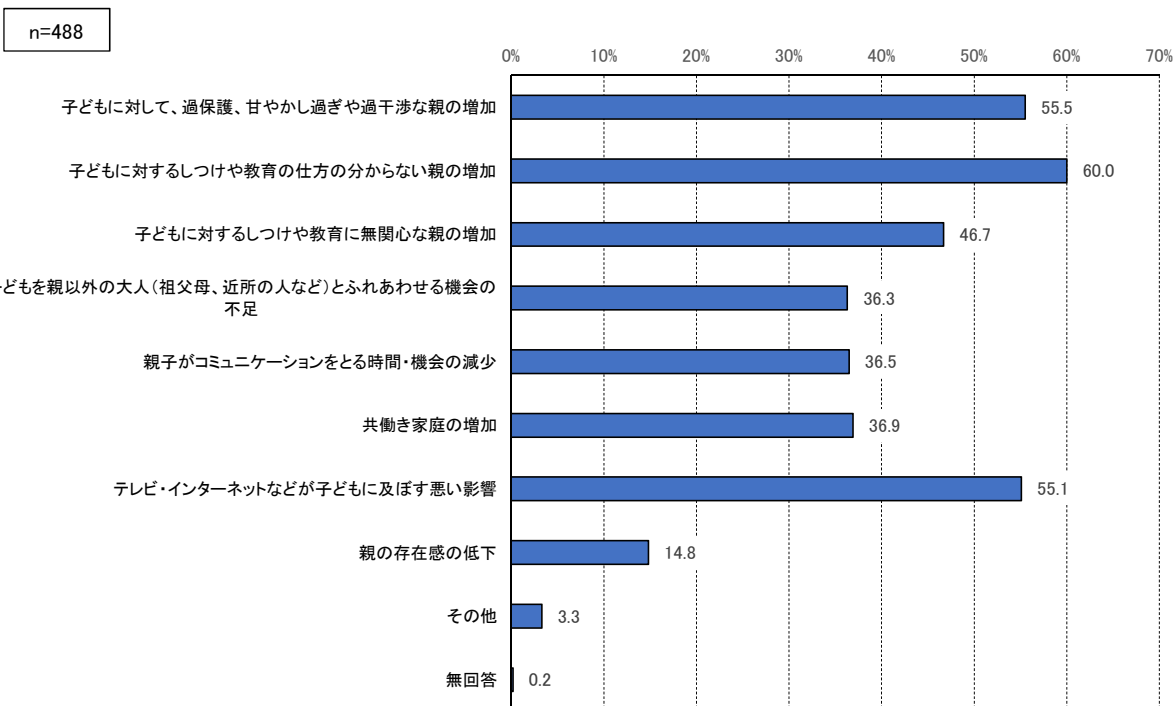
【居住年数別】

「全くそのとおりだと思う」と「ある程度そう思う」の合計は、居住年数5～10年未満(計65.6%)が最も高い。その他、居住年数による大きな差異は見られない。

- ① 全くそのとおりだと思う
- ② ある程度そう思う
- ③ あまりそう思わない
- ④ 全くそう思わない
- ⑤ わからない
- ⑥ 無回答

		0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
凡例		①	②	③	④	⑤	⑥					
全体 (N=790)		15.4	46.3				21.8	2.0	14.3		0.1	
圏域	道央	16.2	45.2				22.1	2.8	13.6		0.2	
	道南	7.9	49.2				22.2	1.6	19.0			
	道北	16.4	56.2				17.8	9.6				
	オホーツク	13.3	46.7				20.0	20.0				
	十勝	18.9	39.6				24.5	17.0				
	釧路・根室	15.6	46.7				24.4	13.3				
	無回答	50.0				25.0		25.0				
人口規模	札幌市	17.7	43.7				25.0	2.0	11.3		0.3	
	人口10万人以上の市	13.6	48.7				21.5	0.5	15.7			
	人口10万人未満の市	12.3	48.4				17.4	3.9	18.1			
	町村	17.4	46.4				20.3	1.4	14.5			
	無回答	50.0				16.7		16.7		16.7		
性別	男性	17.8	43.9				22.7	3.1	12.5			
	女性	14.2	48.2				21.3	1.3	14.9			
	回答しない	5.9	41.2				17.6	29.4		5.9		
	無回答	50.0				50.0						
年代	18～29歳	14.6	37.9				27.2	1.9	18.4			
	30～39歳	19.0	38.0				22.6	4.4	16.1			
	40～49歳	15.0	43.8				23.5	3.3	14.4			
	50～59歳	17.4	53.2				15.3	1.6	12.6			
	60～69歳	11.2	52.4				22.4	13.3		0.7		
	70歳以上	14.5	50.0				25.8	9.7				
	無回答	50.0				50.0						
職種	自営業（農林漁業）	18.2	45.5				13.6	22.7				
	自営業（商工サービス）	24.1	44.8				17.2	6.9	6.9			
	自由業	23.8	52.4				14.3	4.8	4.8			
	事務職系	18.8	49.3				21.0	1.3	9.2		0.4	
	労務職系	12.4	51.1				22.6	1.5	12.4			
	主婦・主夫	10.4	50.7				20.1	2.2	16.4			
	学生	16.7	20.8	45.8				4.2	12.5			
	無職	13.7	35.8				28.4	2.1	20.0			
	その他	16.0	43.6				17.0	1.1	22.3			
	無回答	20.0	20.0	20.0		40.0						
居住年数	1年未満	7.7	50.0				23.1	19.2				
	1～5年未満	9.8	47.5				23.0	3.3	16.4			
	5～10年未満	16.4	49.2				16.4	3.3	14.8			
	10～20年未満	15.4	43.3				24.0	1.9	15.4			
	20年以上	16.5	46.4				21.7	1.7	13.5		0.2	
	無回答	25.0		25.0		25.0		25.0				

問2 ※「問1」で選択肢「1」または「2」を選んだ方のみお答えください。
 あなたが、家庭の教育力が低下していると思う原因を、次の中からいくつでもお選びください。



【全体】

「子どもに対するしつけや教育の仕方の分からない親の増加」(60.0%)の割合が最も高く、「子どもに対して、過保護、甘やかしすぎや過干渉な親の増加」(55.5%)、「テレビ・インターネットなどが子どもに及ぼす悪い影響」(55.1%)が続く。

【圏域別】

オホーツクでは「子どもに対するしつけや教育の仕方の分からない親の増加」(77.8%)、釧路・根室では「テレビ・インターネットなどが子どもに及ぼす悪い影響」(75.0%)が高い。

【人口規模別】

町村では「テレビ・インターネットなどが子どもに及ぼす悪い影響」(64.8%)が高くなっている。

【性別】

男性では「子どもに対するしつけや教育の仕方の分からない親の増加」(63.6%)、女性では「テレビ・インターネットなどが子どもに及ぼす悪い影響」(61.9%)が高い。

【年代別】

30～39歳では「共働き家庭の増加」(51.3%)が高くなっている。

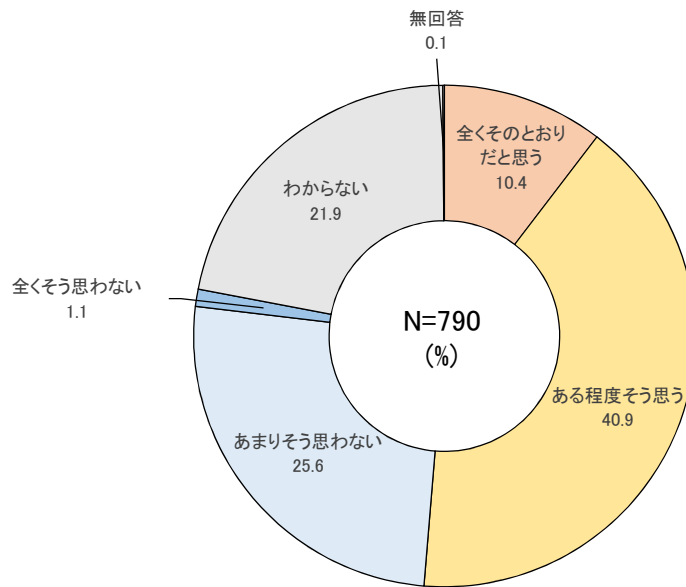
【職種別】

自営業(商工サービス)では「子どもに対するしつけや教育の仕方の分からない親の増加」(85.0%)が高くなっている。

【居住年数別】

居住年数1年未満では、「子どもに対して、過保護、甘やかしすぎや過干渉な親の増加」(66.7%)が高く、「共働き家庭の増加」(26.7%)は低くなっている。

問3 あなたは、地域の教育力が低下していると思いますか。
次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「ある程度そう思う」（40.9%）が最も高く、「あまりそう思わない」（25.6%）、「わからない」（21.9%）が続く。

【圏域別】

オホーツクは「全くそのとおりだと思う」と「ある程度そう思う」の合計が最も低くなっている。（計42.2%）

【人口規模別】

人口規模による大きな差異は見られない。

【性別】

男性は、「全くそのとおりだと思う」（13.1%）、「ある程度そう思う」（43.6%）の割合が、ともに女性を上回る。

【年代別】

「全くそのとおりだと思う」と「ある程度そう思う」の合計は、年代による大きな差異は見られない。年代が低いほど「全くそのとおりだと思う」の割合が高い。

【職種別】

職種による大きな差異は見られない。

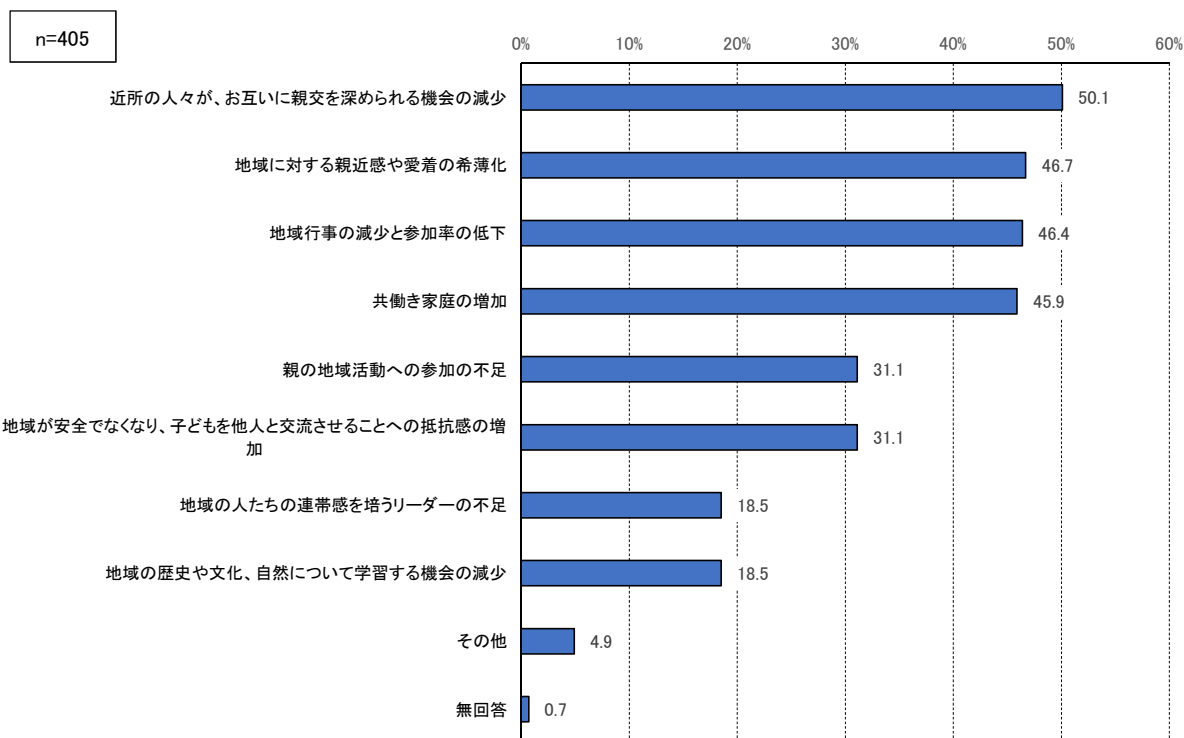
【居住年数別】

「全くそのとおりだと思う」と「ある程度そう思う」の合計は、20年以上が最も高い。（計53.9%）

- ① 全くそのとおりだと思う
 ② ある程度そう思う
 ③ あまりそう思わない
 ④ 全くそう思わない
 ⑤ わからない
 ⑥ 無回答

		0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
凡例		①	②	③	④	⑤	⑥					
全体 (N=790)		10.4	40.9	25.6	1.1	21.9	0.1					
圏域	道央	10.5	39.8	25.0	1.6	22.9	0.2					
	道南	6.3	46.0	28.6	19.0							
	道北	13.7	46.6	21.9	1.4	16.4						
	オホーツク	4.4	37.8	33.3	24.4							
	十勝	15.1	41.5	20.8	22.6							
	釧路・根室	8.9	42.2	28.9	20.0							
	無回答	25.0	50.0	25.0								
人口規模	札幌市	11.3	38.0	25.0	1.3	24.0	0.3					
	人口10万人以上の市	11.0	43.5	23.0	0.5	22.0						
	人口10万人未満の市	10.3	44.5	21.9	1.3	21.9						
	町村	7.2	40.6	33.3	1.4	17.4						
	無回答	16.7	16.7	50.0	16.7							
性別	男性	13.1	43.6	22.1	1.9	19.3						
	女性	8.4	39.1	28.2	0.7	23.6						
	回答しない	5.9	41.2	23.5	23.5	5.9						
	無回答	50.0	50.0									
年代	18～29歳	12.6	38.8	23.3	2.9	22.3						
	30～39歳	11.7	43.8	21.9	1.3	21.2						
	40～49歳	11.1	39.2	28.8	1.3	19.6						
	50～59歳	12.6	40.0	25.3	1.1	21.1						
	60～69歳	6.3	39.9	28.7	24.5	0.7						
	70歳以上	3.2	48.4	24.2	24.2							
	無回答	50.0	50.0									
職種	自営業（農林漁業）	13.6	45.5	18.2	22.7							
	自営業（商工サービス）	13.8	37.9	34.5	13.8							
	自由業	14.3	33.3	23.8	4.8	23.8						
	事務職系	10.9	47.2	24.0	1.3	16.2	0.4					
	労務職系	12.4	43.1	24.1	0.7	19.7						
	主婦・主夫	6.7	38.1	31.3	23.9							
	学生	16.7	29.2	29.2	4.2	20.8						
	無職	5.3	41.1	20.0	2.1	31.6						
	その他	11.7	33.0	26.6	1.1	27.7						
	無回答	20.0	40.0	40.0								
居住年数	1年未満	11.5	34.6	15.4	3.8	34.6						
	1～5年未満	11.5	32.8	29.5	1.6	24.6						
	5～10年未満	9.8	34.4	32.8	3.3	19.7						
	10～20年未満	9.6	38.5	25.0	1.0	26.0						
	20年以上	10.3	43.6	24.7	0.7	20.4	0.2					
	無回答	25.0	50.0	25.0								

問4 ※問3で選択肢「1」または「2」を選んだ方のみお答えください。
 あなたが、地域の教育力が低下していると思う原因を、次の中からいくつでもお選びください。



【全体】

「近所の人々が、お互いに親交を深められる機会の減少」(50.1%)の割合が最も高く、「地域に対する親近感や愛着の希薄化」(46.7%)、「地域行事の減少と参加率の低下」(46.4%)、「共働き家庭の増加」(45.9%)が続く。

【圏域別】

「近所の人々が、お互いに親交を深められる機会の減少」はオホーツク(63.2%)が高い。「地域に対する親近感や愛着の希薄化」は十勝(60.0%)が他の圏域より高くなっている。

【人口規模別】

「地域が安全でなくなり、子どもを他人と交流させることへの抵抗感の増加」は札幌市(37.2%)が最も高くなっている。

【性別】

「地域に対する親近感や愛着の希薄化」(51.6%)や「地域の歴史や文化、自然について学習する機会の減少」(24.2%)は、男性が高くなっている。

【年代別】

30～39歳では「地域の人たちの連帯感を培うリーダーの不足」(6.6%)が低く、「地域が安全でなくなり、子どもを他人と交流させることへの抵抗感の増加」(46.1%)が高くなっている。

【職種別】

「共働き家庭の増加」は、自営業(農林漁業)、自営業(商工サービス)、自由業で、20%前後と低くなっている。

【居住年数別】

「地域行事の減少と参加率の低下」は、居住年数1～5年未満(63.0%)が高くなっている。

		減少	近所の人々が、お互いに	着の希薄化	地域行事の減少と参加率	共働き家庭の増加	親の地域活動への参加の不足	子どもを他人と交流させることへの抵抗感の増加	地域の安全でなくなり、培うリーダーの不足	地域の歴史や文化、自然	その他	無回答
		(%)										
全体 (n=405)		50.1	46.7	46.4	45.9	31.1	31.1	18.5	18.5	4.9	0.7	
圏域	道央	50.2	44.3	45.9	45.5	29.8	33.3	17.3	17.3	5.5	0.8	
	道南	48.5	48.5	42.4	51.5	33.3	18.2	18.2	27.3	0.0	0.0	
	道北	43.2	56.8	36.4	47.7	31.8	27.3	22.7	22.7	4.5	0.0	
	オホーツク	63.2	36.8	52.6	42.1	42.1	15.8	15.8	21.1	10.5	0.0	
	十勝	46.7	60.0	60.0	43.3	33.3	40.0	20.0	13.3	0.0	0.0	
	釧路・根室	56.5	39.1	52.2	43.5	26.1	30.4	26.1	17.4	8.7	4.3	
	無回答	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
人口規模	札幌市	53.4	45.3	42.6	44.6	28.4	37.2	18.9	18.9	6.1	0.0	
	人口10万人以上の市	53.8	51.0	51.9	49.0	30.8	27.9	25.0	21.2	2.9	1.0	
	人口10万人未満の市	48.2	42.4	43.5	50.6	28.2	29.4	10.6	20.0	7.1	2.4	
	町村	39.4	47.0	50.0	36.4	39.4	24.2	18.2	12.1	3.0	0.0	
	無回答	50.0	100.0	50.0	100.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別	男性	54.4	51.6	44.5	41.8	30.2	27.5	22.5	24.2	4.9	0.5	
	女性	45.8	41.6	47.2	49.1	31.3	35.0	15.0	14.5	5.1	0.9	
	回答しない	62.5	62.5	62.5	50.0	37.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	
	無回答	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
年代	18～29歳	56.6	52.8	50.9	41.5	37.7	26.4	13.2	22.6	3.8	1.9	
	30～39歳	48.7	35.5	35.5	32.9	22.4	46.1	6.6	15.8	5.3	0.0	
	40～49歳	41.6	44.2	41.6	50.6	29.9	33.8	19.5	19.5	7.8	1.3	
	50～59歳	50.0	49.0	49.0	48.0	29.0	30.0	28.0	17.0	3.0	0.0	
	60～69歳	48.5	50.0	54.5	50.0	34.8	27.3	19.7	18.2	7.6	0.0	
	70歳以上	65.6	53.1	50.0	56.3	40.6	6.3	21.9	21.9	0.0	3.1	
	無回答	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職種	自営業（農林漁業）	53.8	46.2	53.8	23.1	53.8	30.8	30.8	15.4	7.7	0.0	
	自営業（商工サービス）	53.3	53.3	33.3	20.0	33.3	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	
	自由業	40.0	30.0	40.0	20.0	20.0	30.0	0.0	40.0	10.0	0.0	
	事務職系	48.9	50.4	43.6	45.9	31.6	35.3	20.3	16.5	4.5	0.0	
	労務職系	51.3	51.3	50.0	52.6	30.3	30.3	19.7	18.4	1.3	1.3	
	主婦・主夫	45.0	45.0	46.7	56.7	31.7	23.3	15.0	15.0	5.0	3.3	
	学生	36.4	45.5	54.5	36.4	27.3	27.3	18.2	36.4	9.1	0.0	
	無職	52.3	38.6	54.5	52.3	29.5	18.2	15.9	27.3	2.3	0.0	
	その他	59.5	38.1	40.5	35.7	26.2	40.5	19.0	11.9	14.3	0.0	
	無回答	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
居住年数	1年未満	58.3	58.3	33.3	25.0	16.7	41.7	8.3	16.7	0.0	0.0	
	1～5年未満	51.9	37.0	63.0	55.6	37.0	37.0	18.5	7.4	3.7	0.0	
	5～10年未満	59.3	51.9	48.1	48.1	37.0	33.3	18.5	22.2	7.4	0.0	
	10～20年未満	44.0	36.0	30.0	40.0	28.0	36.0	18.0	24.0	8.0	0.0	
	20年以上	49.7	48.3	47.9	46.5	30.9	28.8	19.1	18.4	4.5	1.0	
	無回答	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

「家庭及び地域の教育力について」の調査を終えて

家庭の教育力の低下については、「全くそのとおりだと思う」「ある程度そう思う」との回答を合わせると、61.7%（H29:62.1%）であり、前回調査と比較して同水準の結果となった。

その原因については、「子どもに対するしつけや教育の仕方の分からない親の増加」（60.0%）、「子どもに対して、過保護、甘やかし過ぎや過干渉な親の増加」（55.5%）、「テレビ・インターネットなどが子どもに及ぼす悪い影響」（55.1%）の順に回答が多かった。

なお、前回調査と比較すると、「子どもに対するしつけや教育に無関心な親の増加」（46.7%）（H29:55.4%）や「子どもに対して、過保護、甘やかし過ぎや過干渉な親の増加」（55.5%）（H29:65.7%）については、ともに数値が9.0ポイント程度低下している。

地域の教育力の低下については、「全くそのとおりだと思う」「ある程度そう思う」との回答を合わせると、51.3%（H29:52.6%）であり、前回調査とほぼ同水準であった。

その原因については、「近所の人々が、お互いに親交を深められる機会の減少」（50.1%）（H29:57.7%）、「地域に対する親近感や愛着の希薄化」（46.7%）（H29:53.1%）の順に回答が多かった。数値は前回調査よりも低下している項目もあるが、課題意識は依然として高い。

今回の調査結果により、家庭及び地域の教育力については、依然として道民の高い課題意識が把握された。この結果を踏まえて、本年3月に策定した「北海道教育推進計画」（計画期間：令和5年度～令和9年度）に基づき、家庭教育支援の取組や地域と学校が連携・協働した取組等を実施し、家庭及び地域の教育力を高める取組を着実に推進していく。

（教育庁生涯学習推進局社会教育課）

